

<第 4343 回>

目的地：明神山（姫路）

担当者：鹿田

実施日：2023 年 3 月 11 日（土）

形式：日帰りハイキング

費用：¥4,600

参加者：10 名

天気：晴れ

行程：

姫路駅北口バス停（9：05）⇒前之庄バス停（10：00）→夢やかた登山口（11：13）→屏風岩（11：24）→観音岩（11：31）→合掌岩（12：09）→地蔵岳（12：37 着）（昼食）（12：57 発）→明神山山頂（13：25 着）（13：45 発）→西の丸（14：36）→マンモスの背（14：47）→夢やかた登山口（15：12）→前之庄バス停（16：28 着）（16：33 発）⇒姫路駅（17：15）（解散）

感想：

3 月とは思えないほどの暖かな陽気の中、明神山をめざしました。明神山は播磨富士と呼ばれる秀麗な山で、大ピークと小ピークを結ぶ吊り橋のような形をしており、667.9mの低山ながら登りごたえのある兵庫 50 山の一つとして知られています。

姫路駅から神姫バスにて前之庄行のバスに乗車しました。1 時間ほどかかって前之庄バス停に到着。そこから 1 時間ほどかけて登山口のある「夢さき夢のさと夢やかた」農業公園に向かいました。のどかな田園地帯ですが日差しが暑いので長く感じました。

広大な農業公園にはレストランやキャンプ場、コテージがあり、その奥に登山口があります。明神山には A~E コースと様々なコースがあるのですが、一番メジャーな C コースから登って A コースに降りるルートを選びました。

C コースは最初から急登で険しい登りが続きました。季節外れの暑さで疲労されたのか、1 名の方が付き添い付きで下山され、8 名で登山することになりました。

明神山は面白い岩場の連続で、梯子のように狭い隙間をくぐる観音岩を超え、広いくじら岩を経て合掌岩を超えると広々とした展望が広がりました。地蔵岳で昼食をとった後から、今日一番の登りとなりました。強烈ながまん坂を超えると、次はロープにすがって登るしかない八丁坂、その後に最大の難所の明神の鎖場と息つく暇もない登りとなりました。

鎖場を超えるとあっけなく明神山の山頂に到達しました。山頂からは 360 度の眺めが楽しめ、少し春霞でもやっていたましたが、七種山や笠形山などの重なりがみごとでした。

その後、激下りの気合坂から下山を開始しました。ここもロープがなければ降りられないほどの急な坂道でしたが、全体的にこの山のロープは新しいものが多く、道標もよく整備されていて助かりました。なんとか平坦な道にたどりついてほっとしたのもつかの間、またもや岩場がいくつも出現しました。なかでもマンモスの背と名付けられた巨大な尾根岩はロープをつかみながら延々くだるという、とんでもないスポットでした。ちなみにラストはズルズル滑る砂の坂に突入するというおまけつきでした。

やっとこさ、夢やかたの下山口に到着。緊張から解放されて一息入れたくて、夢やかたで名物のきなこソフトをいただきました。のんびりしていると帰路のバスの時間が迫ってきてしまい、みな大慌てでバス停まで 45 分ほど歩き、なんとかバスに間に合って姫路駅で解散しました。

健脚のメンバー揃いとはいえ、予想外にアスレチックでハードなコースとなり、例会案内の書き方が安易だったと反省しました。また、せっかく参加していただいたのに、途中で離脱した方もあり、大変申し訳なかったです。ご参加頂いた皆様、ありがとうございました。